

電子入札システム FAQ

NO	業務 関連	環境 設定	電子 入札	情報 公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
1			○		電子入札システムを利用するためには何が必要ですか？	電子入札システムをご利用いただくには、以下の機器等が必要です。 ①パソコン ②インターネット接続環境(HTTP、HTTPS、SMTP、LDAP通信が可能なこと) ③電子証明書(ICカード) ④ICカードリーダー/ライタ ⑤コアシステムインストール用の関連ソフト		2016/6
2			○		パソコンのOSは何がいいですか？	以下のOSが動作保証対象です。 ①Windows8.1エディションなし、Pro (32bit版/64bit版) ②Windows10 Home/Pro (32bit版/64bit版) ※認証局や発注機関により対応OSが異なる場合があります。 ICカードを取得した認証局、および他にご利用される発注機関に確認してください。 ※ Windows11は未対応 です(R4.4.1時点)。電子入札システムを利用するパソコンのOSは無償アップグレードを行わないでください。		2020/1
3			○		用意するパソコンの要件を教えてください。	電子入札システムにて使用するパソコンの要件は以下のとおりです。 OSの種類により要件が異なりますのでご注意ください。 ①CPU Core Duo 1.6GHz同等以上推奨 ②搭載メモリ 32bit版:1.0GB以上を推奨 64bit版:2.0GB以上を推奨 ③HDD 1ドライブの空きが、1.0GB以上の空き容量 ④グラフィックプロセッサ(GPU) WDDM対応グラフィックプロセッサ (VRAM128MB以上) 推奨 ※認証局および他にご利用される発注機関によりハードウェア条件が異なる場合があります。		2020/4
4			○		電子入札が動作するブラウザは何がありますか？	Microsoft Edge(Chromium版)(バージョン89以上) Google Chrome(バージョン89以上) Internet Explorer 11 (～2022年6月16日(木)まで) (注意事項) ※Internet Explorerは32 bit版をご利用ください。 ※Windows 8.1はデスクトップ版のInternet Explorerのみサポート対象となります。 ※Windows8.1をご利用の方のみ2022年6月17日(金)以降もInternet Explorer 11をご利用いただけます。ただし、Microsoft社延長サポート終了日(2023年1月11日)までとなります。 ※Microsoft EdgeのIEモードは対応しておりません。		2022/4

電子入札システム FAQ

NO	業務 関連	環境 設定	電子 入札	情報 公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
5		○			インターネット接続環境とは具体的にどのような通信ができればよいのですか？	<p>以下の通信プロトコルが利用可能である必要があります。 インターネットサービスプロバイダー(ISP)または社内のシステム管理者にご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HTTP :Hypertext Transfer Protocol (WWW) ・HTTPS:Hypertext Transfer Protocol Security (SSL) ・SMTP : Simple Mail Transfer Protocol (電子メール) ・LDAP : Lightweight Directory Access Protocol <p>(注意事項) 社内LANを使用する場合、社内のファイアウォールが上記通信プロトコルの通過を許可しているかご確認ください。</p>		2016/6
6		○			Macやタブレット、スマートフォンは対応していますか？	対応しておりません。		2016/6
7		○			電子入札システムを使用するパソコンは他業務と兼用できますか？	電子入札システムを使用するためには、パソコンの環境設定が必要となります。 他業務との競合によりパソコンの設定が変わってしまうこともあるため、可能であれば電子入札システム専用のパソコンをご準備ください。		2016/6
8		○			国土交通省や他発注機関の電子入札システムを利用しているICカードは利用できますか？	電子入札コアシステムに対応しているICカードはご利用可能です。 ご利用中の認証局にお問い合わせください。		2020/4

電子入札システム FAQ

NO	業務 関連	環境 設定	電子 入札	情報 公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
9		○			.Net Frameworkのバージョン確認方法が分かりません。	<p>Windows8.1では、「コントロールパネル」-「プログラムのアンインストール」の一覧表示にてご確認ください。</p> <p>Windows10では、レジストリエディタで以下のキーを確認することができます。(レジストリを変更することで不具合が発生する場合がございます。本当にバージョンの確認が必要な場合のみ操作をしてください。)</p> <p>キー: %HKEY_LOCAL_MACHINE%SOFTWARE%MICrosoft%NET Framework Setup%NDP%v4%Full 値の名前: Release 値の型: REG_DWORD 値の内容: 378389=.NET Framework 4.5 378675=.NET Framework 4.5.1 378758=.NET Framework 4.5.1 379893=.NET Framework 4.5.2 393295=.NET Framework 4.6 393297=.NET Framework 4.6 394254=.NET Framework 4.6.1 394271=.NET Framework 4.6.1 394802=.NET Framework 4.6.2 394806=.NET Framework 4.6.2 460798=.NET Framework 4.7 460805=.NET Framework 4.7 461308=.NET Framework 4.7.1 461310=.NET Framework 4.7.1 461808=.NET Framework 4.7.2 461814=.NET Framework 4.7.2 528040=.NET Framework 4.8 528049=.NET Framework 4.8</p> <p>このキーが存在しない場合は、.Net Framework4.5以降はインストールされていません。</p>		2020/4
10		○			電子入札システムにログインしようとする、「サーバとの接続に失敗しました。ブラウザを閉じて始めから操作を行ってください。」と表示されます。	電子入札を利用するためのソフトウェアがインストールされていない可能性があります。ご利用の認証局に設定が完了しているか、ご確認をお願いします。		2020/4

電子入札システム FAQ

NO	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
11		○			フォントの設定は必須ですか。	<p>入札書等が文字化けする可能性があるため、フォントの設定 (JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する) は必ず行ってください。</p> <p>①IMEプロパティ(※)を開く。 ②[詳細設定]ボタンを押下する ③[変換]タブを押下する。 ④[詳細設定]ボタンを押下する。 ⑤「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する」にチェックを入れる。</p> <p>(※)IMEプロパティが開けない場合は、「設定」より「全般」を選択してください。 「変換候補の一覧に含める文字セットを選択する」より「JIS X 0208のみ」を選択してください。</p>	③フォントの設定	2021/3
12		○			PIN番号とは何ですか？	<p>コアシステム対応の認証局が、ICカード購入の際にICカード毎に発行する暗証番号です。PIN番号についてご不明点がある場合は、ICカードを購入した認証局までお問い合わせ下さい。</p>		2016/6
13		○			PIN番号を3回連続入力間違いをするとカードが失効しますか？	<p>ICカードの失効までの誤入力回数は、各認証局により異なります。ご利用の電子認証局にお問い合わせください。</p>		2016/6
14		○			PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。「処理の受付が終了しませんでした。再度、同じ処理を実行してください」	<p>もう一度、同じ操作をして改善しない場合は、ブラウザの再起動を行ってください。ブラウザの再起動を行った後も改善しない場合は、ブラウザの設定をし直す必要があります。</p>	<p>①Internet Explorerの設定 ⑧MicrosoftEdgeとGoogleChromeの設定</p>	2022/4
15		○			PIN入力画面が出てきません。	<p>他の発注機関が運営する電子入札システムを利用したときのキャッシュがPCに残っていて、キャッシュの不整合を起こしている可能性があります。電子入札補助アプリのキャッシュクリアとIEのキャッシュクリアをお試しください。</p> <p>①電子入札補助アプリの右クリックメニューから「キャッシュ削除」を選択する。 ②キャッシュ制御画面にて、「すべて削除」を選択する。 ③②の実施後、右クリックメニューにある「終了」で電子入札補助アプリを終了し、Windowsのスタートメニューより再起動する。</p>	<p>②キャッシュクリア手順 ⑥電子入札補助アプリのキャッシュクリア</p>	2022/4
16		○			PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。「デバイスが使用できません。」	<p>①ICカードがICカードリーダーに正しく差し込まれているか確認してください。 ②ICカードリーダーを接続したままPCを再起動し再度ご確認ください。 ③PIN番号の入力に間違いがないか確認してください。 ④ICカード関連ソフトウェアのインストール不備が考えられますので、ICカードを購入した認証局までお問い合わせください。</p>		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
17			○		PIN番号入力後、下記のエラーメッセージが表示されます。 「ログインに失敗しました」	①PIN番号の入力に間違いがないか確認してください。 ②ICカードがリーダに正しく差し込まれているか確認してください。 ③ICカードリーダを接続したままPCを再起動し再度ご確認ください。 ④ICカード関連ソフトウェアのインストール不備が考えられますので、ICカードを購入した認証局までお問い合わせください。		2016/6
18			○		PIN番号を入力後、赤字で「ログインに失敗しました。ICカードを確認してください。」というメッセージが表示されません。	利用者登録を行っていない場合に表示されるメッセージです。 利用者登録を行ってください。		2016/6
19			○		自分のパソコンと電子入札システムの時間がずれていますが、入札書等の提出はどちらの時間に合わせれば良いですか？	電子入札システムサーバ上の時間を基準として、全ての受付開始や締切等が設定されていますので、電子入札システム画面上部中央の時刻をご確認ください。		2016/6
20			○		下記のエラーメッセージが表示されます。 「セッションタイムアウトになりました。」 電子入札システムは何分でタイムアウトになりますか？	電子入札システムは最後にサーバーと通信してから30分でタイムアウトになります。 ブラウザをすべて閉じて、再度ログインをしてください。		2016/6
21			○		ICカードが利用者登録されているかを確認するにはどうすれば良いですか？	利用者登録で「登録」をクリックすると確認できます。「挿入されているICカードの利用者はすでに登録されています。」と表示された場合は、既に登録されたICカードとなります。		2016/6
22			○		利用者登録メニューで「資格審査情報が登録されてません」と表示されてしまいます。	入力した「業者番号」「商号又は名称」が発注機関にて管理する情報と異なっております。入力した内容に誤りがないかご確認ください。 内容に誤りがない場合は、資格登録を実施した発注機関にお問い合わせください。 ※「商号又は名称」は必ず全角で入力してください。		2016/6
23			○		利用者登録を実施しましたが、登録した内容を再確認するにはどうしたらいいですか。	利用者登録メニューの「変更」から確認することができます。		2016/6
24			○		利用者登録にて複数のメールアドレスを登録することは出来ますか。	連絡先メールアドレスは1つしか登録出来ません。		2016/6
25			○		代表窓口とはなんですか？	指名競争の場合、登録した代表窓口に対して指名通知発行メールが送付されますので、登録の際は各企業様の内部で代表窓口の決定をお願いします。ICカードを複数枚登録する場合、一番最初に登録したカードで代表窓口情報を入力(編集)することができます。		2016/6
26			○		代表者窓口情報の変更はできますか？	可能です。 ICカードが複数ある場合、どのカードでも変更可能です。		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
27	○		○		企業代表者変更のため、発注機関へ変更届を提出しましたが、電子入札システムの利用者登録画面で変更されていません。	企業代表者変更の手続きが完了しても、電子入札システムへの変更がまだ反映していない場合があります。 発注機関に状況を確認してください。		2016/6
28	○		○		ICカードは、誰の名義で利用者登録すれば良いですか？	弘前市の入札参加有資格者名簿に登録されている代表者(又は委任先代表者)の名義で登録することが原則ですが、入札の権限を委任した人物の名義での登録も可とします。この場合、委任状(電子入札用)を事前にご提出ください。		2016/6
29	○		○		建設工事と建設関連業務の入札に参加したい。ICカードは別に用意すべきですか？	建設工事と建設関連業務(建設コンサル)とは別のICカードをご用意ください。		2016/6
30	○		○		複数のICカードを利用者登録できますか？	システム上は複数のICカードを利用者登録することができます。		2016/6
31	○		○		ICカード取得者が複数の場合、参加申請や入札書の提出などはどのICカードからでも提出可能ですか？	電子入札システムでは、いずれのカードでも提出可能です。 ただし、使用するICカードは、弘前市の入札参加有資格者名簿に登録されている代表者(又は委任先代表者)の名義又は、委任状(電子入札用)で事前に入札の権限を委任した人物の名義で作成したものを使用してください。		2016/6
32	○		○		案件に参加している途中で、別のICカードに変更することは出来ますか？	電子入札システムでは、途中でICカードを変更することが可能です。 案件によっては変更できない場合もありますので、必ず事前に契約担当課にご確認ください。 また、参加途中の案件がある場合は、「企業プロパティ」にて案件に対する登録情報を変更することが必要となります。		2016/6
33			○		調達案件一覧にある「企業プロパティ」とはどんな機能ですか？	参加中の案件に対して連絡先情報を変更する機能です。 企業プロパティにて情報の変更を行っても、利用者登録の内容は変更されません。また、企業プロパティにて情報を変更しても「変更完了のお知らせ」メールは届きません。		2016/6
34			○		利用者登録の登録(変更)内容確認画面にある、証明書シリアル番号とは何ですか？	証明書シリアル番号は認証局によって採番された番号である為、電子入札システムでは使用しません。証明書発行者、証明書有効期限もICカードに対する情報ですので、詳細はご利用の認証局にお問い合わせ下さい。		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
35				○	利用者登録で「ICカード更新」ボタンがあります。これほどの様な機能でしょうか。	ICカードに登録済みの情報を新しいICカードに引き継ぐ機能です。ICカードの有効期限切れが間近となった際等にご利用ください。 ただし、使用しているICカードの有効期限が切れている場合は新しいカードへ更新できないため、新たに登録をしてください。		2021/2
36				○	ICカード更新後に旧カードは利用できますか？	更新後は、旧カードが有効期限内であっても利用不可能となります。		2016/6
37				○	ICカードを更新した場合、新ICカードでログインし、旧ICカードで参加した案件の情報を確認できますか？	確認できます。		2016/6
38				○	システム添付書(競争参加資格確認申請書)を提出した事を確認する方法はありますか？	提出された場合は、調達案件一覧の競争参加資格確認申請書のボタンが「提出」から「表示」に変わります。 また提出前や、正常に提出されていないと「提出」のままとなります。		2016/6
39				○	調達案件概要にて「内訳書無し」とされている案件の場合、入札書提出時に内訳書を添付できないのですか？	発注者が「内訳書無し」として登録した案件の入札書には、内訳書を添付することができません。 また、「内訳書有り」として登録した案件の場合は、何らかのファイルを添付しないと入札書を提出することが出来ません。		2016/6
40				○	入札書送信時、下記のエラーメッセージが表示されます。 「指定された添付資料が見つかりません」	①添付するファイルがネットワーク上の共有フォルダ、またはフロッピーディスク等の外部メディアに保存されているとうまくいかないことがあります。ファイルを一度デスクトップ等に保存してから再度ファイル添付を実行してください。 ②Internet Explorer(※)をご利用の場合は、「信頼済みサイト」に下記URLが登録されているか確認してください。または、Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeをご利用の場合は、「ポップアップ許可の登録」設定で下記URLが登録されているか確認してください。 https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp (電子入札のみ使用する場合はこちらのみ) https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp (※)Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のサポート終了(2022年6月16日(木))以降は動作保証できません。Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeをご利用ください。	①Internet Explorerの設定 ⑧Microsoft EdgeとGoogle Chromeの設定	2022/4
41				○	入札書を提出する画面のくじ番号とはなんですか？	電子入札システムでは落札候補者が複数いた場合、電子くじにより決定します。 このくじを行うときに用いる受注者が入力する任意の数値のことを言います。 くじ番号欄には、任意の3桁の数字を入力してください。(例:000,001,123)		2016/6
42				○	入札書を提出する際に内訳書の内容を確認できますか？	入札書提出時の作成画面および提出内容確認画面では内訳書の内容を確認できません。提出前に添付内容及び添付誤りがないかをよくご確認ください。		2016/6

電子入札システム FAQ

NO	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
43			○		入札書が正常に提出された事を確認するにはどうしたら良いですか？	入札書提出後、入札書受付票が自動発行されます。電子入札システムメニューの「入札状況一覧→入札/見積/辞退届受付表欄」に「表示」ボタンが表示されていれば提出されています。		2016/6
44			○		「〇〇のお知らせ」メールが届きますが、このメールは誰が送っているのですか？	各種お知らせメールは、電子入札システムが発注機関に代わり自動的に送信しています。		2016/6
45			○		通常指名競争入札にて、指名通知書が発行されたかどうかはどのように確認すればいいですか。	指名通知書が発行されると、その旨をお知らせするメールが自動送信されますので、お知らせするメールを受信後、電子入札システムにてご確認ください。 また、指名通知のお知らせメールは利用者登録時に代表窓口として登録したメールアドレスに通知されます。		2016/6
46			○		電子入札システムの検証機能はICカードが無くても操作することが出来ますか。	検証機能はICカードを使用しませんので操作することが出来ます。		2016/6
47			○		検証機能とは何ですか。	入札金額が改ざんされていないことを確認できる機能です。		2016/6
48			○		検証機能の中にある「入札時ハッシュ」「事前公開時入札金額ハッシュ」「入札公開時入札金額ハッシュ」の「ハッシュ」とは何ですか？	ハッシュとは、入札金額の改ざんを検証する為に使用する金額を変換したデータです。 開札前と開札後の入札金額をデータ化し、比較することにより改ざんの有無を検証することが出来ます。		2016/6
49			○		質問回答は案件に参加していない業者でも閲覧可能ですか？	質問回答は、案件に参加していない業者でも閲覧可能です。入札情報公開システムから閲覧してください。		2016/6
50		○			ヘルプデスクにIP電話から電話しても繋がりません。	電子入札システムシステムのヘルプデスク電話回線はNTTコミュニケーションズのナビダイヤル®サービスを利用しており、ナビダイヤル®サービスの制限により一部のIP電話からは接続できません。 一般電話もしくは、携帯電話から電話をお願いいたします。 また、メールでも問い合わせを受付しておりますのでご活用ください。		2016/6
51		○			Internet Explorerの画面にて「このページは表示できません」と表示され、電子入札システムに接続ができない。	Internet Explorer(※)の詳細設定より、「TLS1.2」の通信が許可されているか確認してください。 (※)Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のサポート終了(2022年6月16日(木))以降は動作保証できません。Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeでご利用ください。	④暗号化通信方式「TLS1.2」有効化の設定	2022/4

電子入札システム FAQ

NO	業務関連	環境設定	電子入札	情報公開	質問・現象	回答	参考資料	更新日
52			○		「指定された添付資料の読み込みに失敗しました」と表示される。	<p>Internet Explorer(※)の「信頼済みサイト」に下記URLが登録されているか確認してください。または、Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeの「ポップアップ許可の登録」設定で下記URLが登録されているか確認してください。 https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp (電子入札のみ使用する場合はこちらのみ) https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp</p> <p>(※)Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のサポート終了(2022年6月16日(木))以降は動作保証できません。Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeをご利用ください。</p>	<p>①Internet Explorerの設定 ⑧Microsoft EdgeとGoogle Chromeの設定</p>	2022/4
53			○		下記メッセージが表示されます。「サーバとの接続に失敗しました。ブラウザを閉じて始めから操作を行ってください。」	<p>電子入札補助アプリが起動しているか確認してください。(起動している場合はタスクトレイに電子入札補助アプリのアイコンが表示されます。) 起動していない場合は、スタートメニューより電子入札補助アプリを起動してください。</p> <p>電子入札補助アプリがインストールされていない場合は、インストールを行ってください。 インストール方法はご利用の認証局へご確認をお願いします。</p>	⑦電子入札補助アプリの再起動	2020/7
54			○		下記メッセージが表示されます。「[APP-CRITICAL-9900101-19999]実行エラーが発生しました。」	<p>①電子入札補助アプリが起動しているか確認してください。(起動している場合はタスクトレイに電子入札補助アプリのアイコンが表示されます。) 起動していない場合は、スタートメニューより電子入札補助アプリを起動してください。</p> <p>②パソコンの日付、時刻および言語の設定が次の内容と異なる可能性があります。 スタートメニュー→設定(歯車のマーク)にて下記をご確認ください。 ・日付:西暦(日本語形式[2020年3月3日]など) ・時刻:24時間形式 ・言語:日本語 異なる箇所は修正をしてください。</p>	⑦電子入札補助アプリの再起動	2020/7

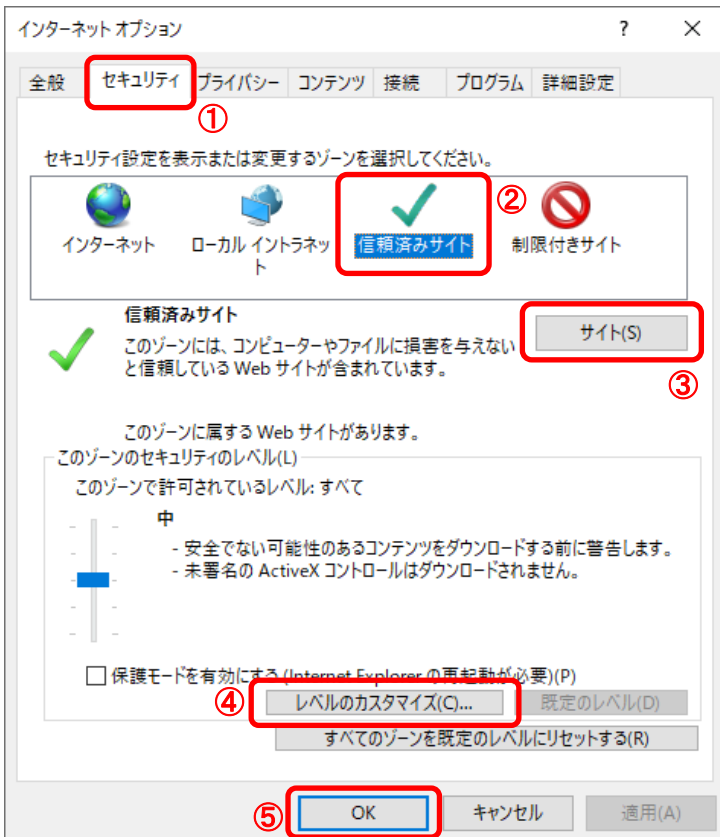
①Internet Explorerの設定

※Windows8.1 をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorerを開いてください。
Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のサポート終了(2022年6月16日(木))以降は動作保証できず
サポート終了後は、他のブラウザ(Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chrome)を使用してください。

1. Internet Explorerを開き、以下の操作を行います。
(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。



2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。
(1)[セキュリティ]タブ①をクリックします。
(2)[信頼済みサイト]②をクリックし、[サイト]ボタン③をクリックします。
→2. 1. 信頼済みサイトダイアログ (1)へ
(3)[レベルのカスタマイズ]ボタン④をクリックします。
2. 2. セキュリティ設定ー信頼されたゾーンダイアログ (1)へ
(4)[OK]ボタン⑤をクリックします。

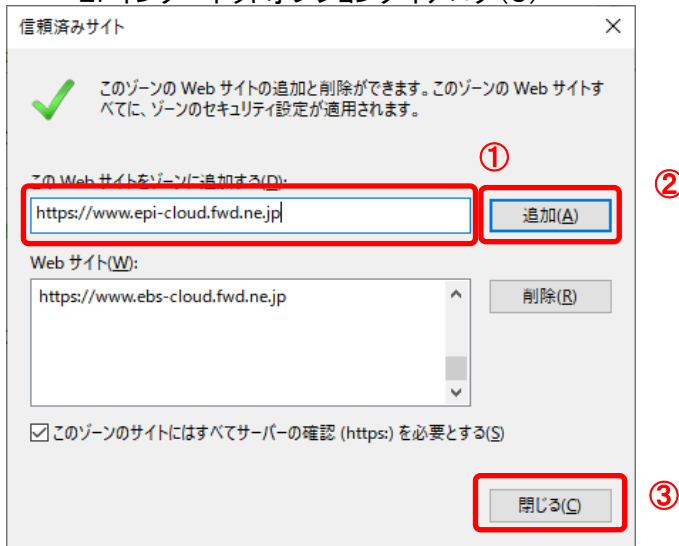


2. 1. 信頼済みサイトダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1) [次のWebサイトをゾーンに追加する]欄①に下記「電子入札URL」に示すアドレスを一行ずつ入力します
 - (2) [追加]ボタン②をクリックし、[Webサイト]にURLが追加されたことを確認します。
 - (3) 上記(1)～(2)を必要なURL分行います。

電子入札URL

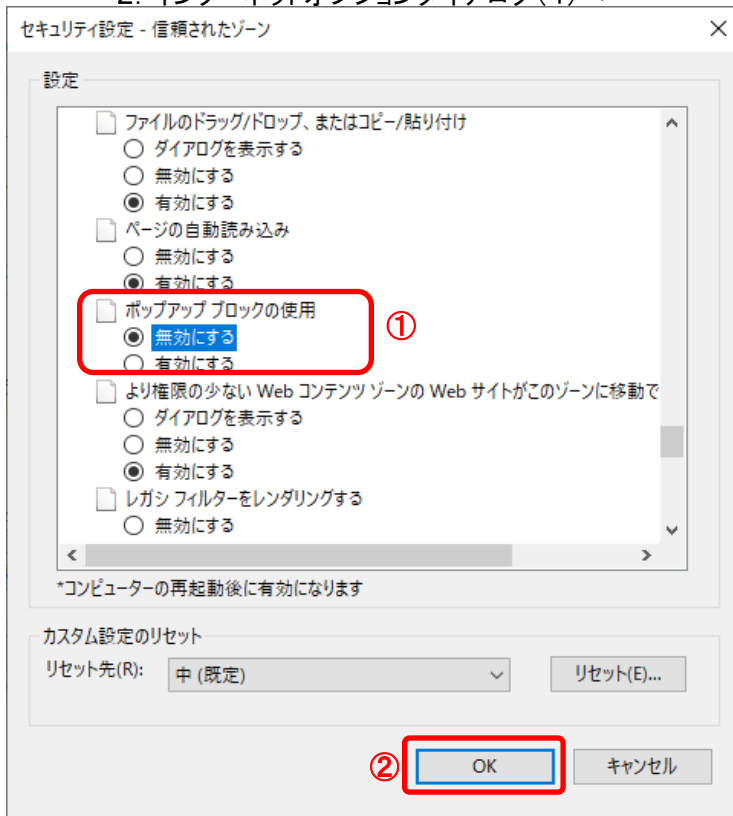
<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp> (電子入札のみ使用する場合はこちらのみ)
<https://www.epi-cloud.fwd.ne.jp>

- (4) [閉じる]ボタン③をクリックします。
- 2. インターネットオプションダイアログ(3)へ

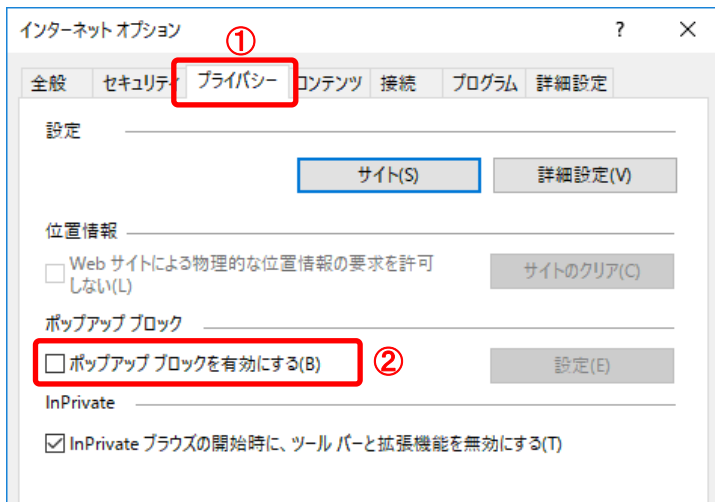


2. 2. セキュリティ設定 - 信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。
 - (1) [ポップアップブロックの使用]①を[無効にする]に変更します。
 - (2) [OK]ボタン②をクリックします。

→2. インターネットオプションダイアログ(4)へ

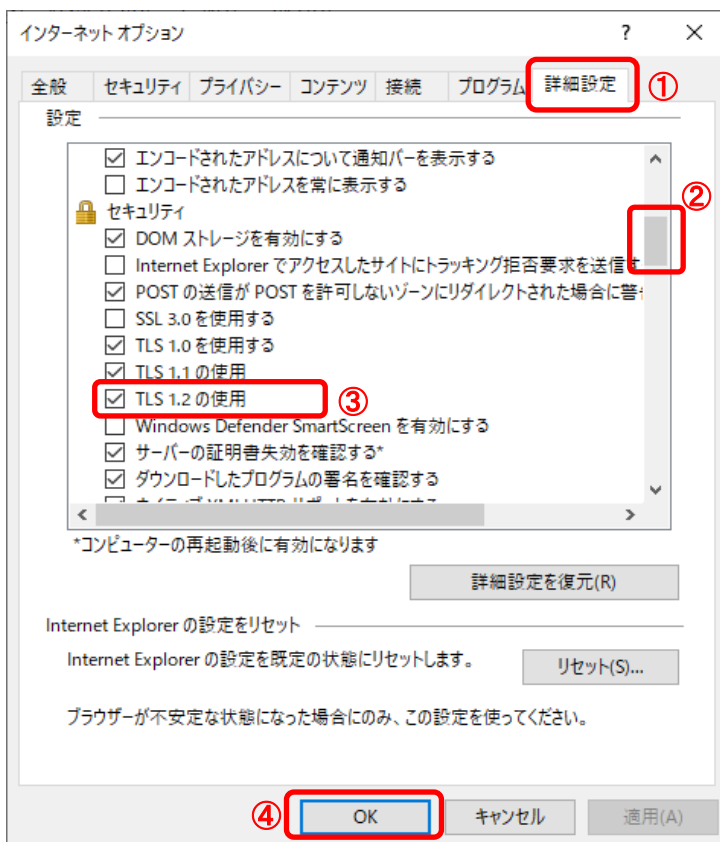


※上記2を設定後もポップアップブロックのメッセージが表示される場合は、インターネットオプションの「プライバシー」タブより「ポップアップブロックを有効にする」にチェックが入っている可能性があります。チェックが入っている場合は外してください。



3. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

- (1) [詳細設定]タブ①をクリックします。
- (2) 「セキュリティ」項目部分までスクロール②し、[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていることを確認 → [TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていない場合はチェックを付けてください。
- (3) [OK]ボタン④をクリックします。



以上で設定は終了です。

②キャッシュクリア手順

・設定手順はブラウザにより異なります。

(1) Internet Explorer11をご利用の場合

※Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のInternet Explorerサポート終了(2022年6月16日(木))以降は動作保証できません。Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeでご利用ください。

1. Internet Explorer11を開き、以下の操作を行います。

(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。



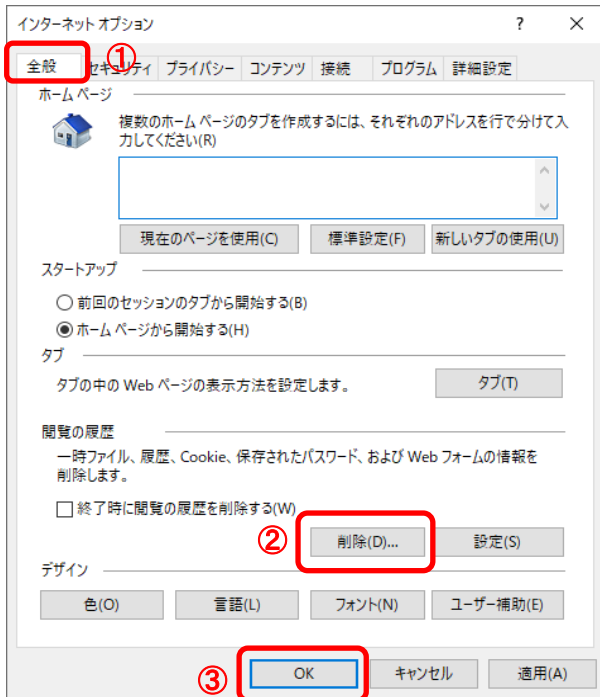
2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

(1)[全般]タブ①をクリックします。

(2)「閲覧の履歴」にある[削除]ボタン②をクリックします。

→3. 閲覧の履歴の削除ダイアログ (1)へ

(3)[OK]ボタン③をクリックします。



3. 閲覧の履歴の削除ダイアログにて以下の操作を行います。
- (1)「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」チェックボックス①をチェックします。
 - (2)「クッキーとWebサイトデータ」チェックボックス②をチェックします。
- ※「履歴」チェックボックスにはチェックをしないでください。
「履歴」を削除した場合、互換表示設定にて設定したアドレスが消えてしまいます。
- (3) [削除]ボタン③をクリックします。
→2. インターネットオプションダイアログ (3)へ

閲覧の履歴の削除

お気に入り Web サイトデータを保持する(R)
お気に入り Web サイトの基本設定を保持したり、ページを素早く表示したりするために使用される、Cookie とインターネット一時ファイルを保持します。

インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル(T) ①
情報をすばやく表示するために保存された Web ページ、イメージおよびメディアのコピーです。

クッキーと Web サイトデータ(O) ②
基本情報の保存または Web サイトのパフォーマンス向上のために Web サイトによってコンピュータに格納されたファイルまたはデータベースです。

履歴(H) ※注意 ③
閲覧した Web サイトの一覧です。

ダウンロードの履歴(W)
ダウンロードしたファイルの一覧です。

フォーム データ(F)
フォームに入力した情報を保存したものです。

パスワード(P)
以前アクセスした Web サイトにサインインするときにパスワードが自動入力されるように、パスワード情報を格納したファイルです。

追跡防止、ActiveX フィルター、およびトラッキング拒否のデータ(K)
フィルター処理から除外される Web サイトの一覧、閲覧した情報を自動的に流出させている可能性があるサイトを検出するために追跡防止が使用するデータ、およびトラッキング拒否要求に対する例外です。

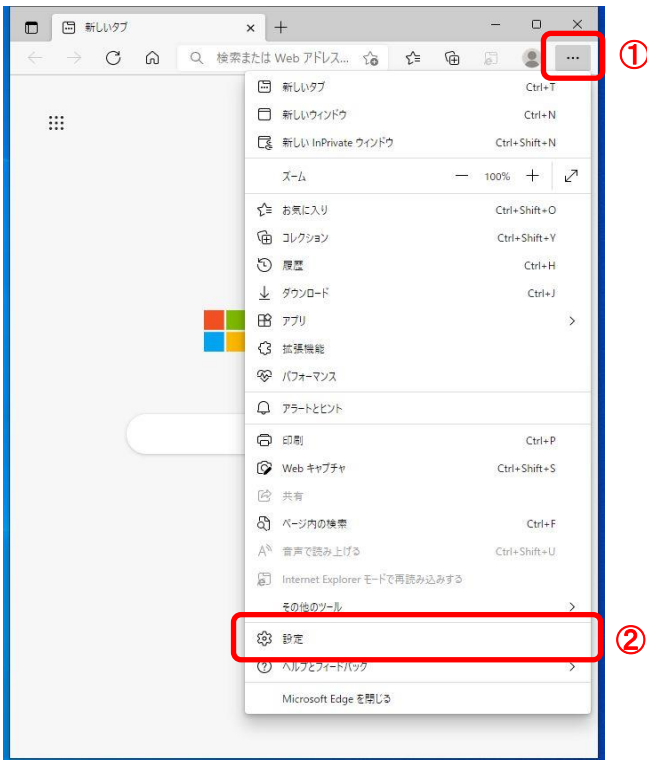
[閲覧の履歴の削除についての詳細](#) ③

削除(D) キャンセル

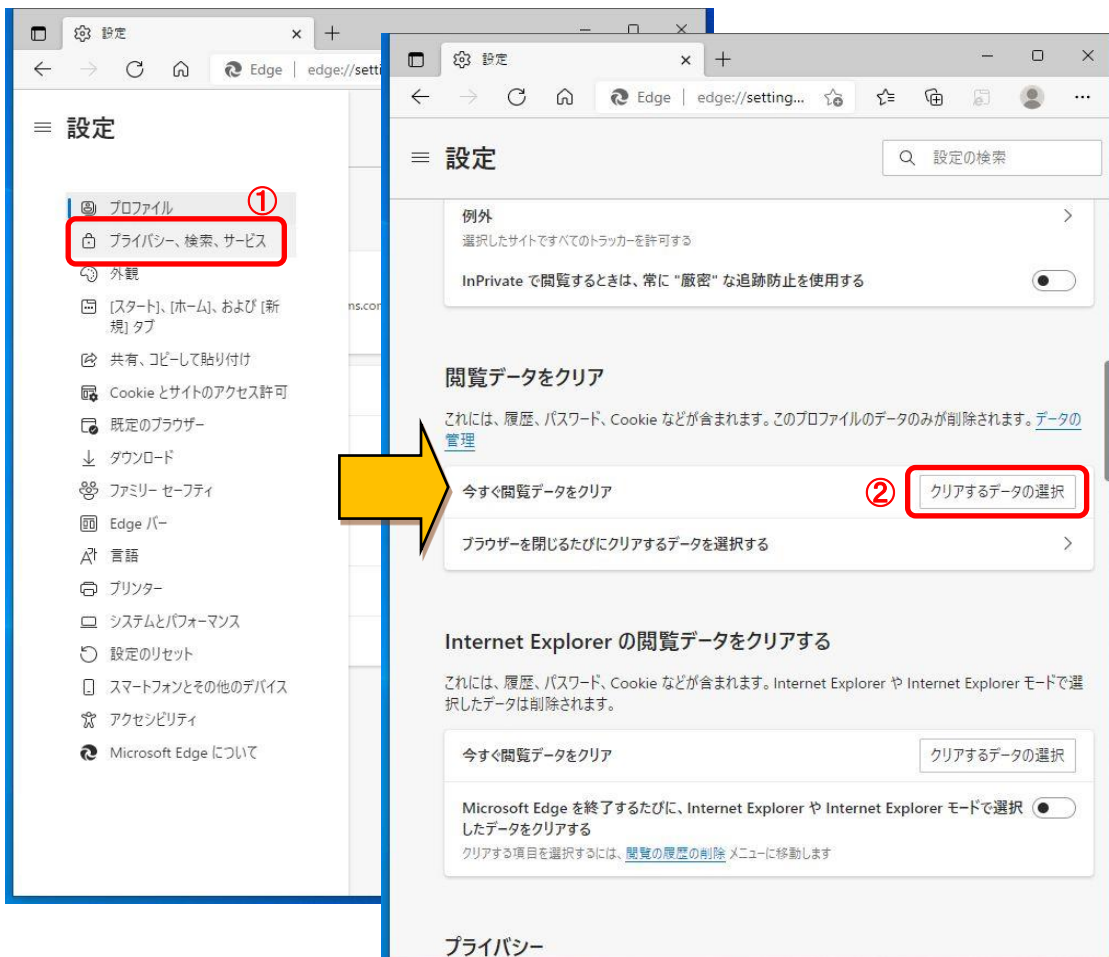
Internet Explorerの設定は以上です。

(2) Microsoft Edgeをご利用の場合

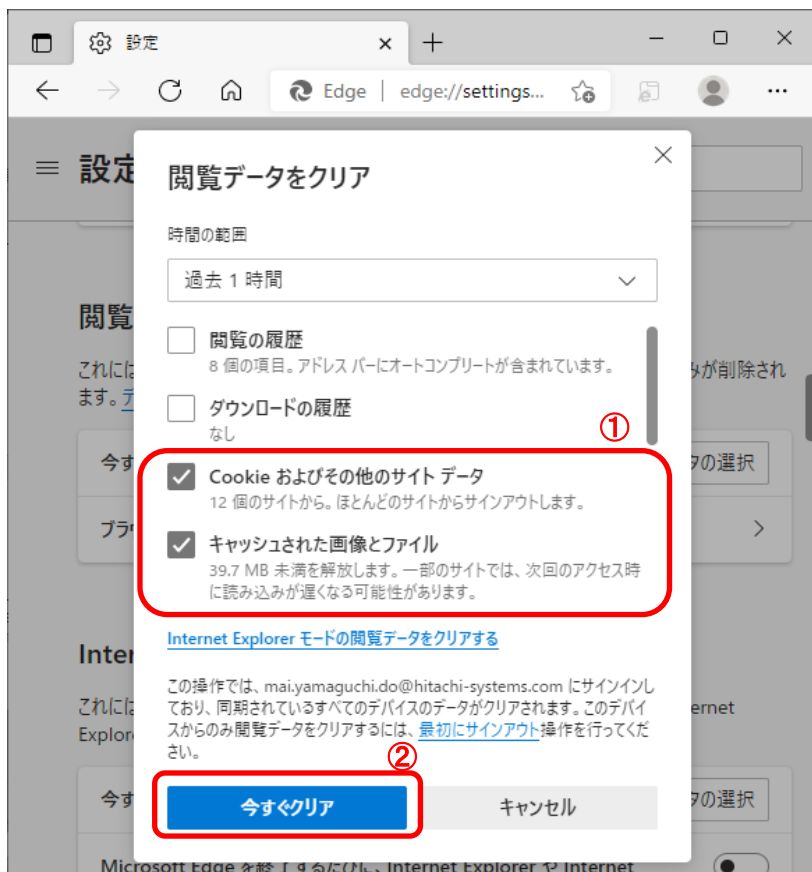
1. Microsoft Edgeを開き、以下の操作を行います。
 - (1) ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」①をクリックします。
 - (2) 表示されたメニューの「設定」②をクリックします。



2. 設定画面にて以下の操作を行います。
 - (1) 左側のメニューにある「プライバシー、検索、サービス」①をクリックします。
 - (2) 表示された画面の「閲覧データをクリア」にある「クリアするデータを選択」②ボタンをクリックします



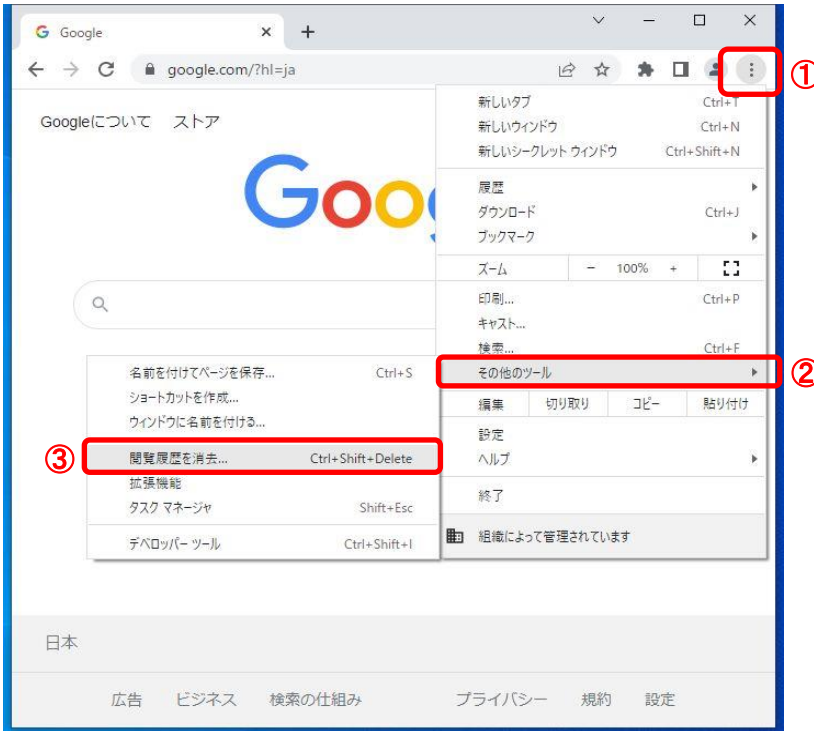
3. 閲覧データをクリア画面で操作を行います。
- (1)「Cookieおよびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」①のチェックボックスを選択します。
 - (2)「今すぐクリア」ボタン②をクリックします。
 - (3)すべての画面を閉じます。



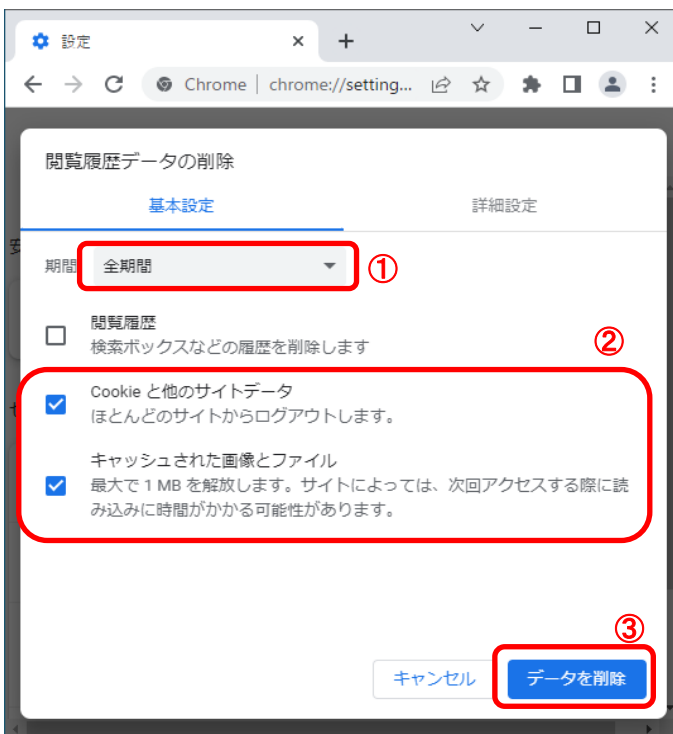
Microsoft Edgeの設定は以上です。

(3) Google Chromeをご利用の場合

1. Google Chromeを開き、以下の操作を行います。
 - (1) ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「⋮」①をクリックします。
 - (2) 表示されたメニューの「その他のツール」②を選択します。
 - (3) 「閲覧履歴を消去」③をクリックします。



2. 閲覧履歴データの削除画面にて以下の操作を行います。
 - (1) 期間を「全期間」①として、「Cookieと他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」②のチェックボックスを選択します。
 - (2) 「データを削除」ボタン③をクリックします。



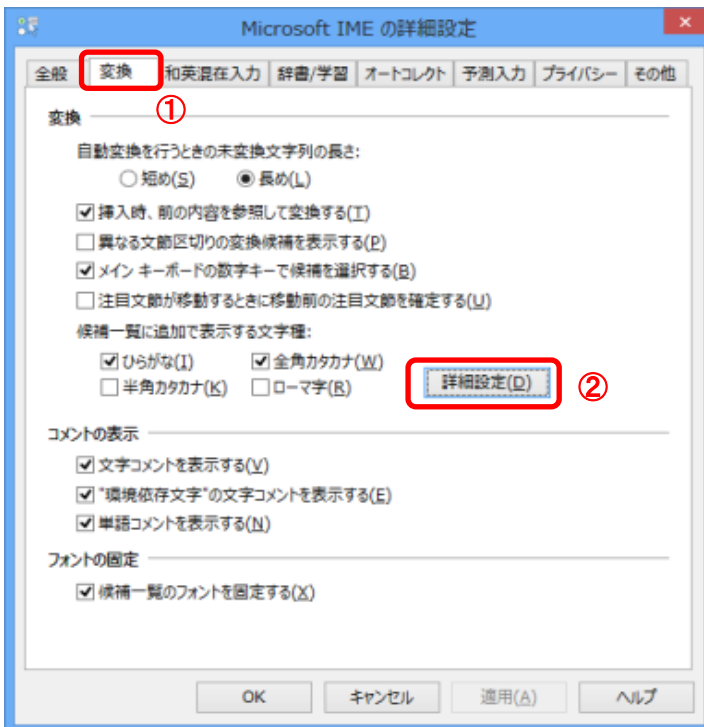
Google Chromeの設定は以上です。

③フォントの設定

電子入札システムを使用するパソコンでは、JIS2004対応フォントが使用できません。
以下手順を参照の上、JIS2004の使用制限を行ってください。

1. Windows8.1またはWindows10(バージョン1909以前)をご利用の方

- (1) ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
※メニュー内に「プロパティ」がない場合は、「2. Windows10(バージョン2004以降)をご利用の方」をご確認ください。
- (2) IME プロパティを開き、画面上部の「変換」タブ①をクリックします。
画面上の「詳細設定」ボタン②をクリックします。

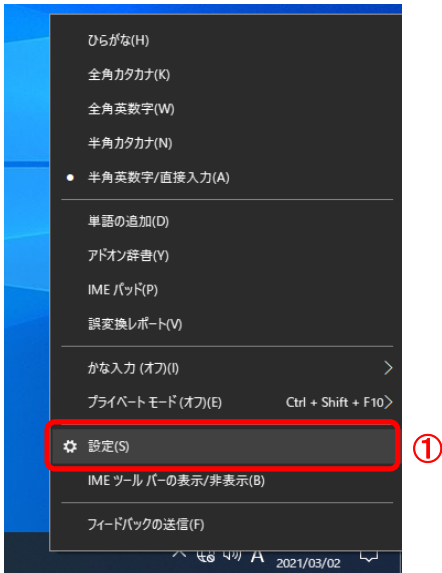


- (3) 「JIS X 0208 で構成された文字のみ変換候補に表示する」①をチェックします。
「OK」ボタン②をクリックします。



2. Windows10(バージョン2004以降)をご利用の方

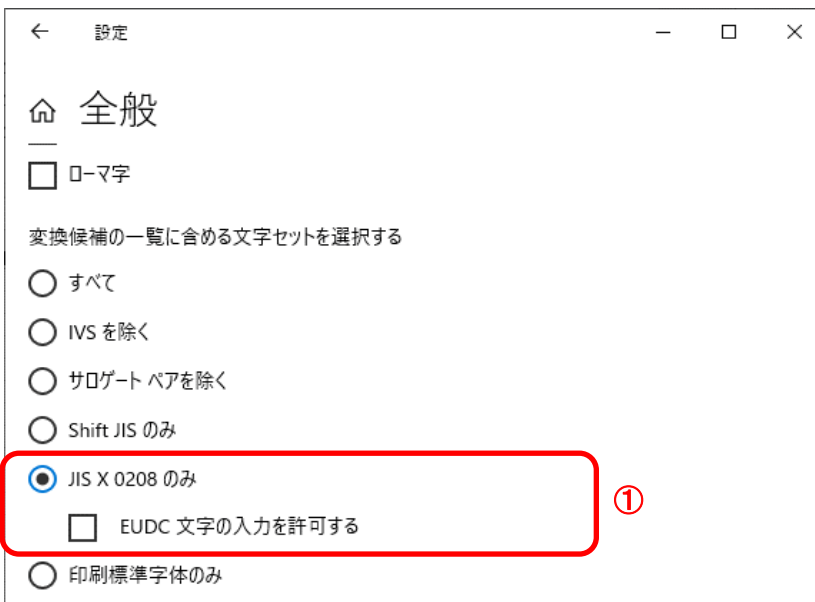
(1) ツールバーに表示される「A」や「あ」を右クリックし、「設定」①を選択します。



(2) Microsoft IMEの設定画面より、「全般」①をクリックします。



(3) 「JIS X 0208 のみ」にチェックをします。



以上で設定は終了です。

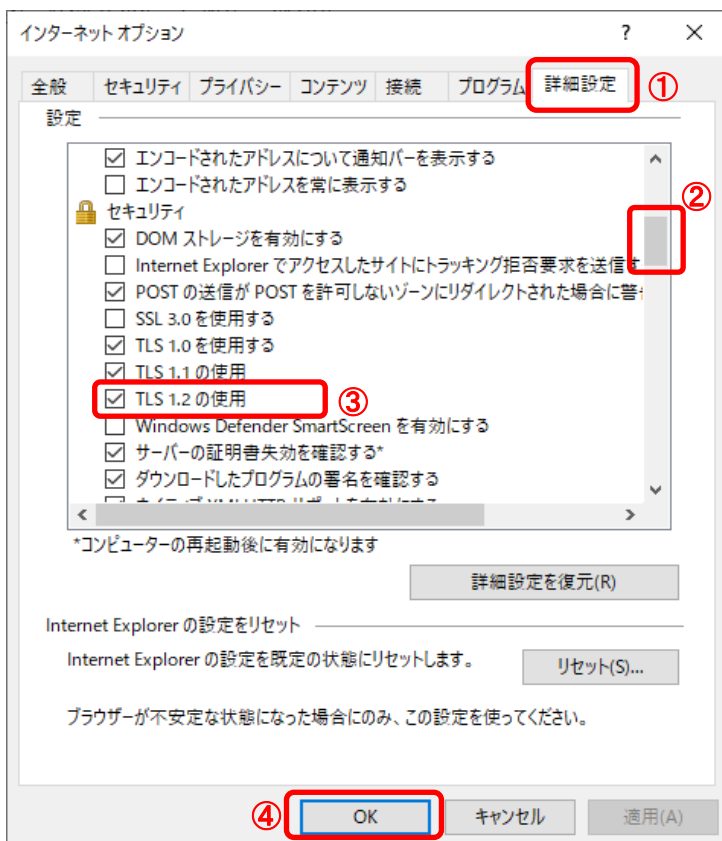
④暗号化通信方式「TLS1.2」有効化の設定

※Windows8.1をご利用の場合は、デスクトップ画面よりInternet Explorer11を開いてください。
Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のサポート終了(2022年6月16日(木))以降は動作保証できません。
Microsoft Edge(Chromium版)又はGoogle Chromeをご利用ください。

1. Internet Explorer11を開き、以下の操作を行います。
(1)メニューバー[ツール]ー[インターネットオプション]①をクリックします。



2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。
(1)[詳細設定]タブ①をクリックします。
(2)「セキュリティ」項目部分までスクロール②し、[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていることを確認しま
→[TLS1.2を使用する]③にチェックが選択されていない場合はチェックを付けてください。
(3)[OK]ボタン④をクリックします。

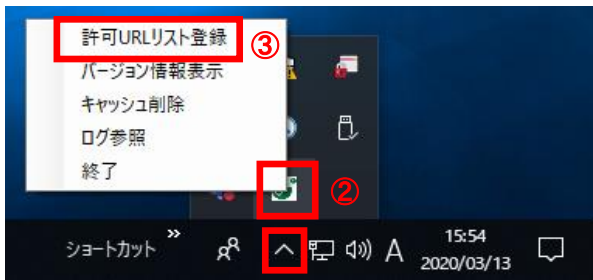


3. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。

以上で設定は終了です。

⑤電子入札補助アプリへの許可URLリストの設定

(1) タスクバーに表示される矢印①をクリックし、電子入札補助アプリのアイコン②を右クリックします。表示されたメニューより許可URLリスト登録③を選択します。



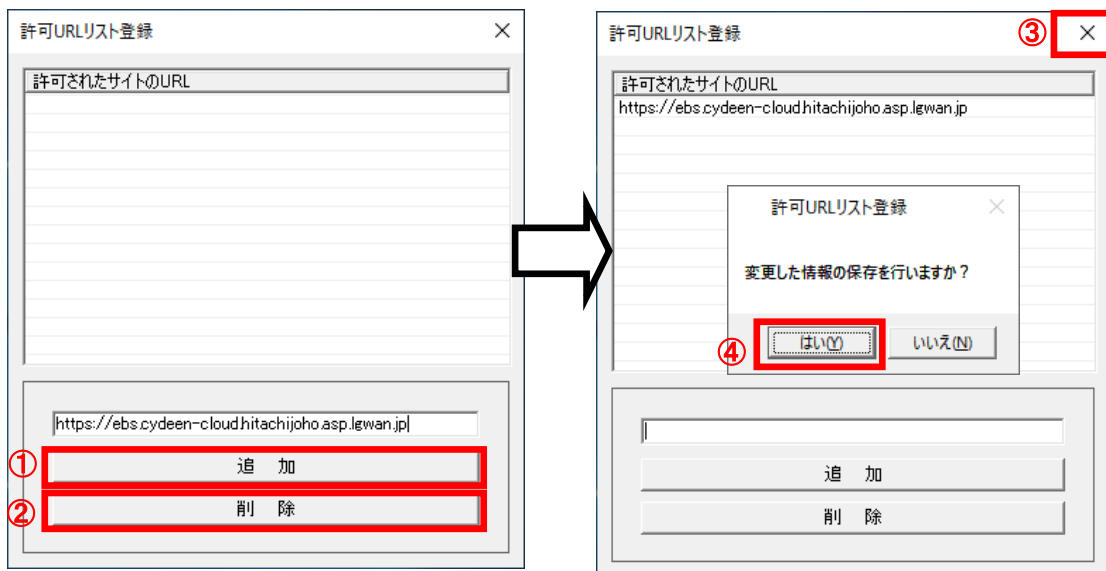
①

※電子入札補助アプリのアイコンが表示されない場合は、スタートメニューより「電子入札補助アプリ」を選択し、起動してから行ってください。セキュリティ警告が表示される場合は「はい」を選択してください。

(2) 入力箇所欄①に下記URLを入力し、「追加」ボタン②をクリックします。

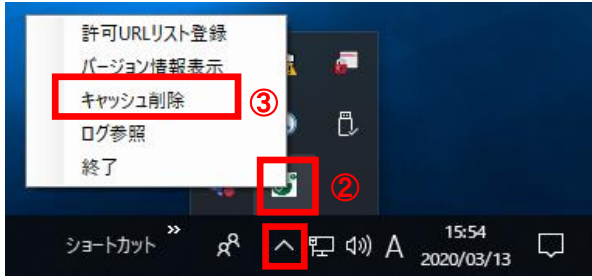
受注者 <https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp>

「×」ボタン③をクリックするとポップアップのメッセージが表示されます。
「はい」ボタン④をクリックして閉じてください。



⑥電子入札補助アプリのキャッシュクリア

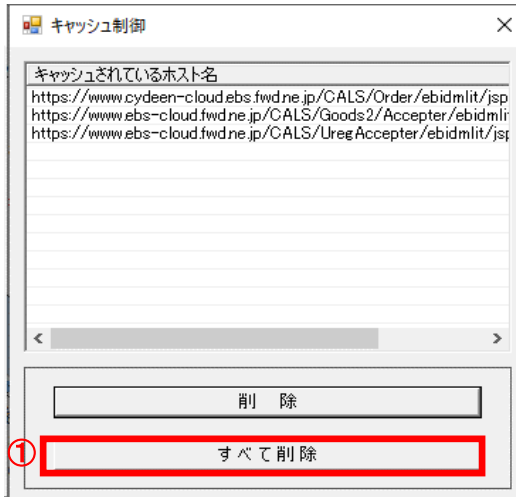
- (1) タスクバーに表示される矢印①をクリックし、電子入札補助アプリのアイコン②を右クリックします。表示されたメニューよりキャッシュ削除③を選択します。



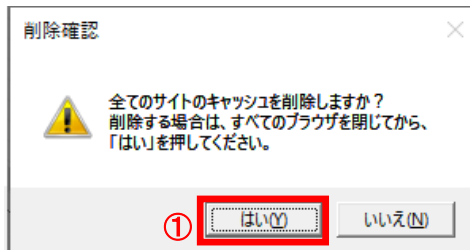
①

※電子入札補助アプリのアイコンが表示されない場合は、スタートメニューより「電子入札補助アプリ」を選択し、起動してから行ってください。セキュリティ警告が表示される場合は「はい」を選択してください。

- (2) 「すべて削除」ボタン①をクリックします。



- (3) 確認メッセージが表示されたら「はい」①をクリックして、画面を閉じます。



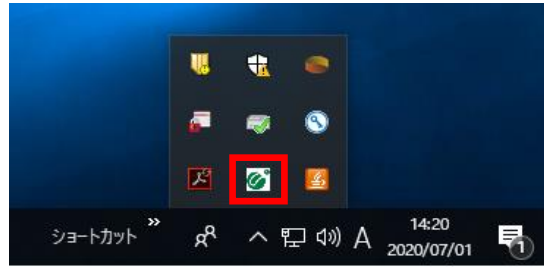
- (4) 電子入札補助アプリを再起動(※)してください。

(※) (1)の手順にて電子入札補助アプリのアイコンを右クリックして、表示されたメニューより「終了」を選択します。スタートメニューより「電子入札補助アプリ」を選択し、起動します。

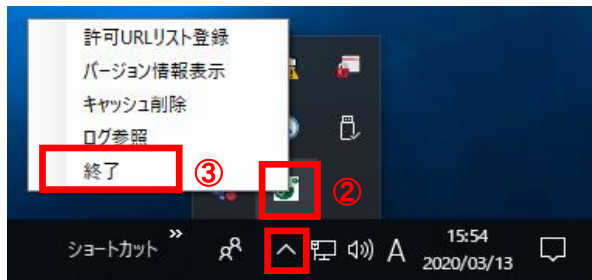
⑦電子入札補助アプリの再起動

※電子入札補助アプリの状況確認

電子入札補助アプリが起動中の場合は、電子入札補助アプリのアイコンがタスクバーやタスクトレイに表示されます。アイコンが表示されていない場合は起動していないので下記(2)にて起動してください。



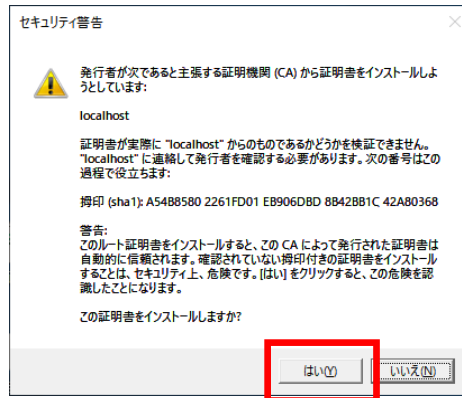
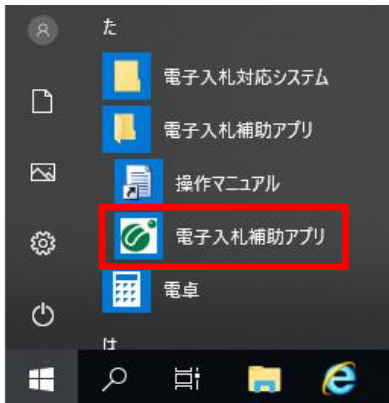
- (1) タスクバーに表示される矢印①をクリックし、電子入札補助アプリのアイコン②を右クリックします。表示されたメニューより終了③を選択します。



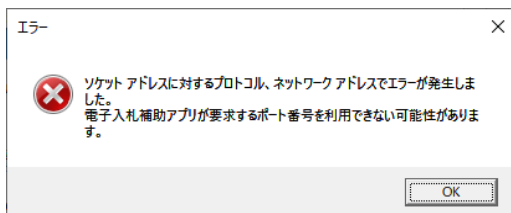
①

- (2) スタートメニューから「電子入札補助アプリ」を起動します。
タスクバーやタスクトレイに電子入札補助アプリのアイコンが表示されたら起動完了です。

(注意事項) 起動時に証明書のインストールについてメッセージが表示された場合は必ず「はい」を選択してください。



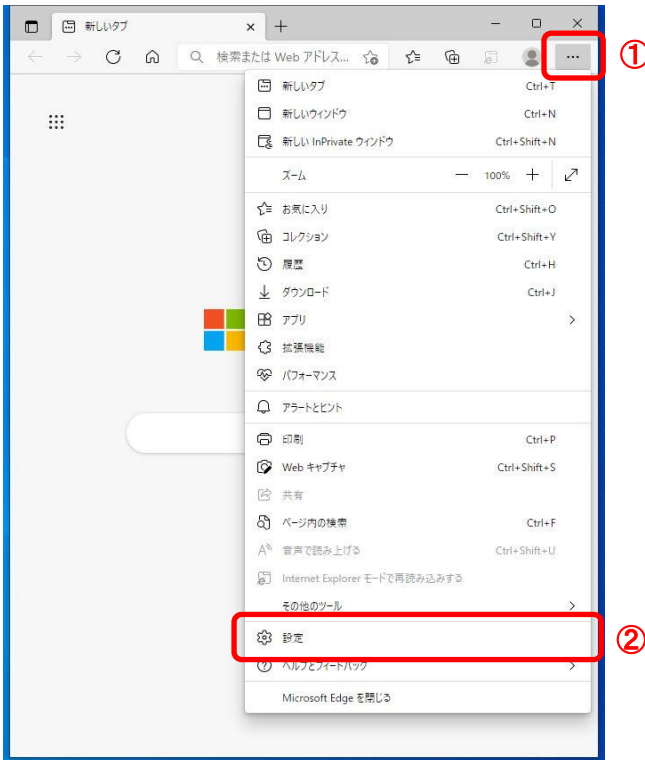
※既に起動済みの場合は次のようなエラーメッセージが出ます。



⑧MicrosoftEdgeとGoogleChromeの設定

(1) Microsoft Edgeをご利用の場合

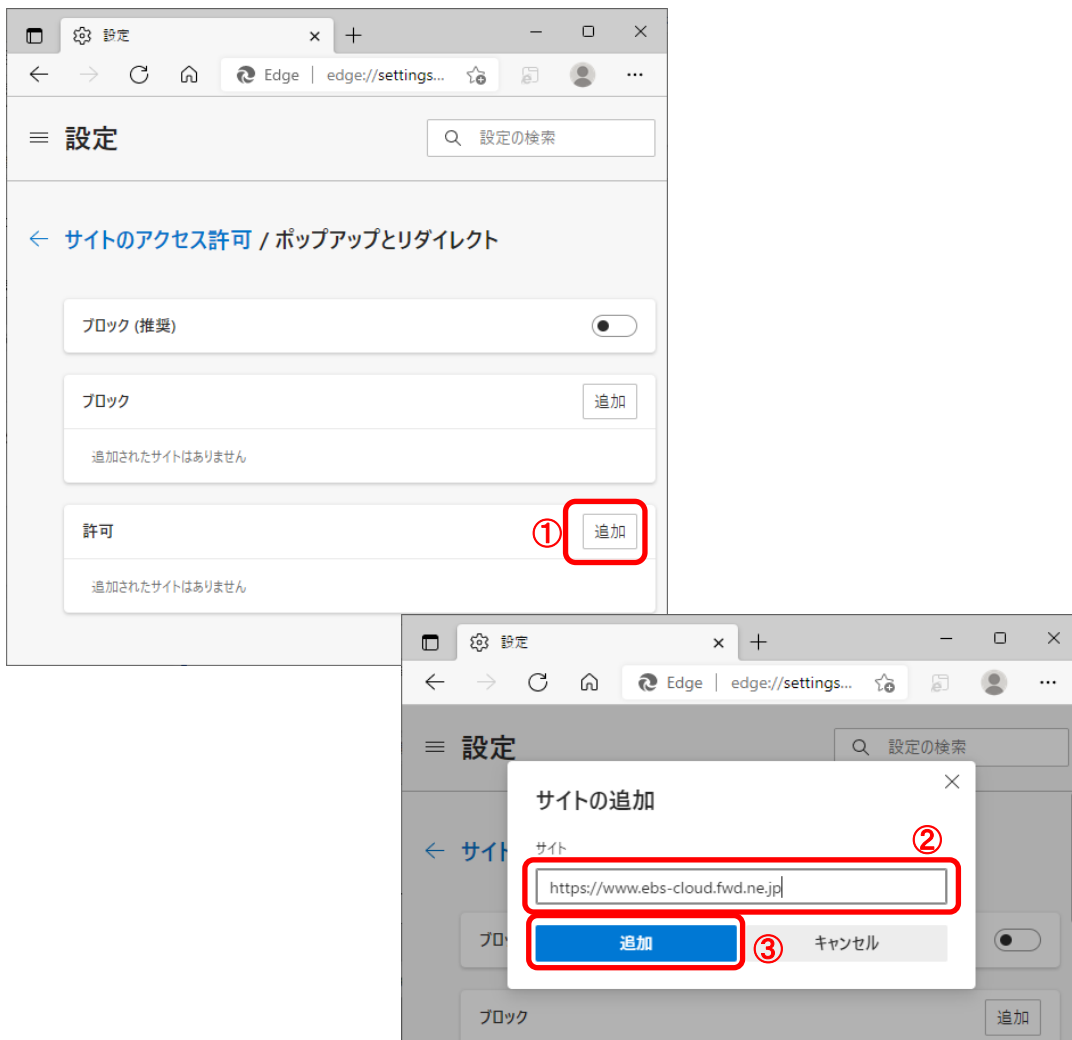
1. Microsoft Edgeを開き、以下の操作を行います。
 - (1) ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」①をクリックします。
 - (2) 表示されたメニューの「設定」②をクリックします。



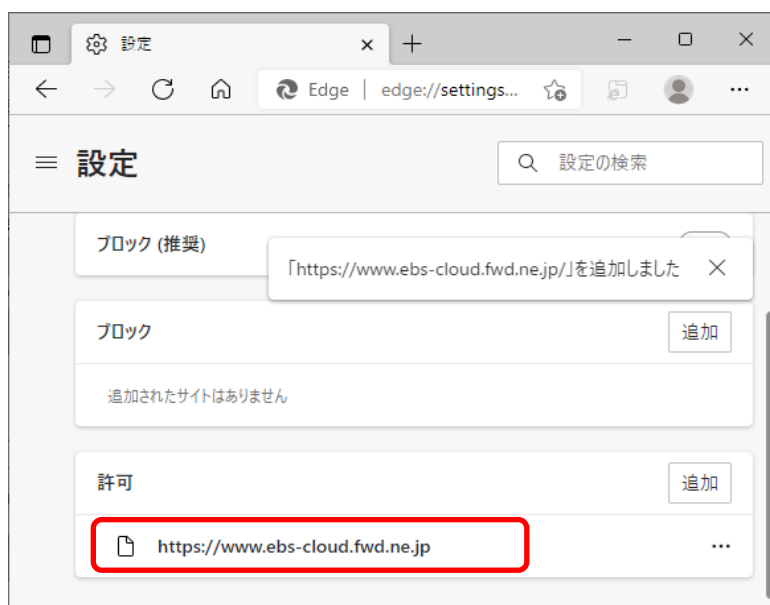
2. 設定画面にて以下の操作を行います。
 - (1) 「Cookieとサイトのアクセス許可」①をクリックします。
 - (2) 保存されたCookieとデータ画面の「ポップアップとリダイレクト」ボタン②をクリックします。



3. サイトのアクセス許可を行います。
- (1) 許可欄の「追加」ボタン①をクリックします。
 - (2) サイトの追加画面にて、「サイト」欄②に以下のURLを入力し、「追加」ボタン③をクリックします
<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp>



- (3) 許可欄に登録したURLがある事を確認します。

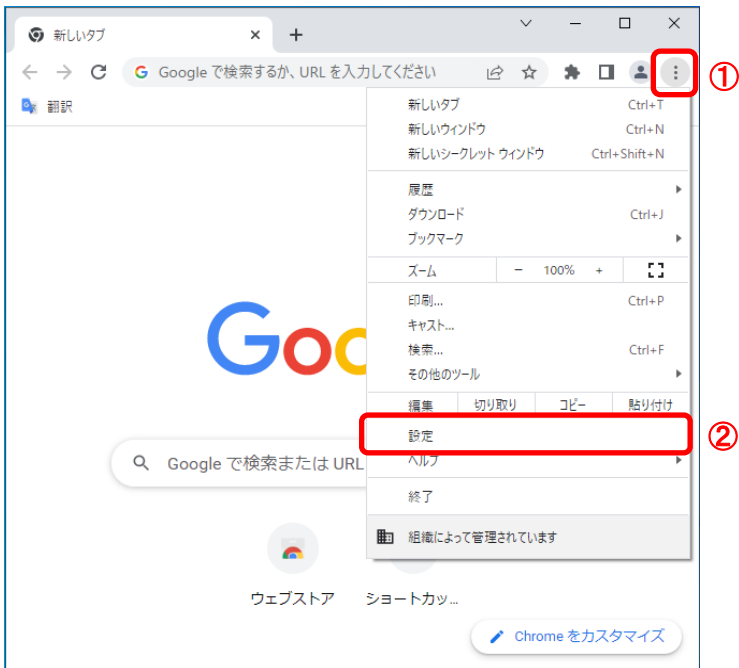


Microsoft Edgeの設定は以上です。

(2) Google Chromeをご利用の場合

1. Google Chromeを開き、以下の操作を行います。

- (1) ウィンドウ右上の「×」のすぐ下にある「…」①をクリックします。
- (2) 表示されたメニューの「設定」②をクリックします。



2. 設定画面にて以下の操作を行います。

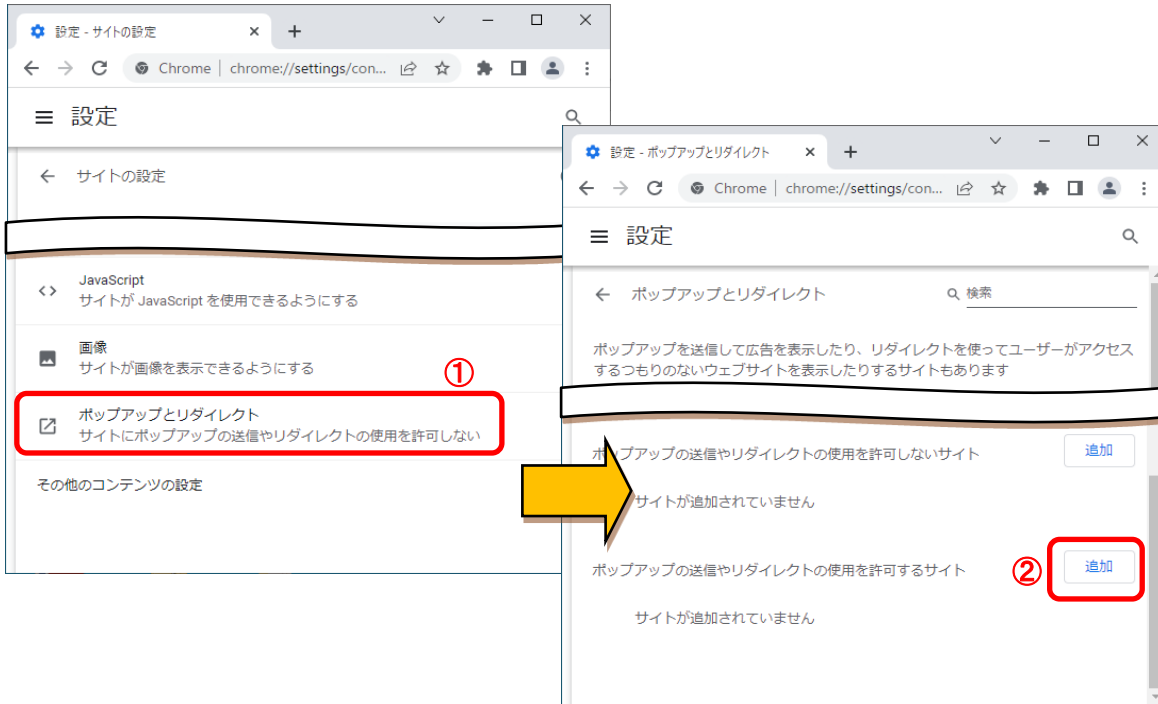
- (1) 設定画面内にある「セキュリティとプライバシー」①をクリックします。
- (2) 表示されたメニューの「サイトの設定」②をクリックします。



3. サイトのアクセス許可を行います。

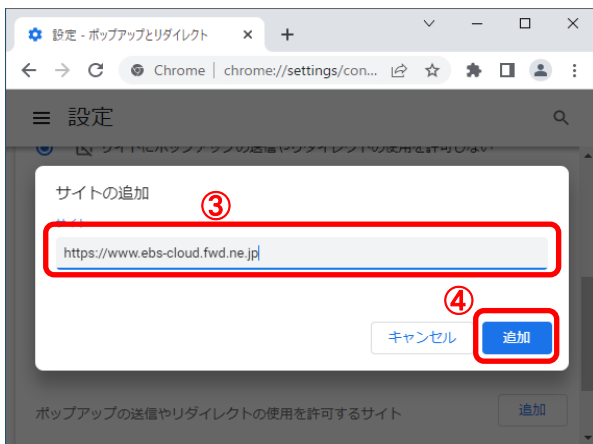
(1)「ポップアップとリダイレクト」ボタン①をクリックします。

(2)ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト欄の「追加」ボタン②をクリックします。

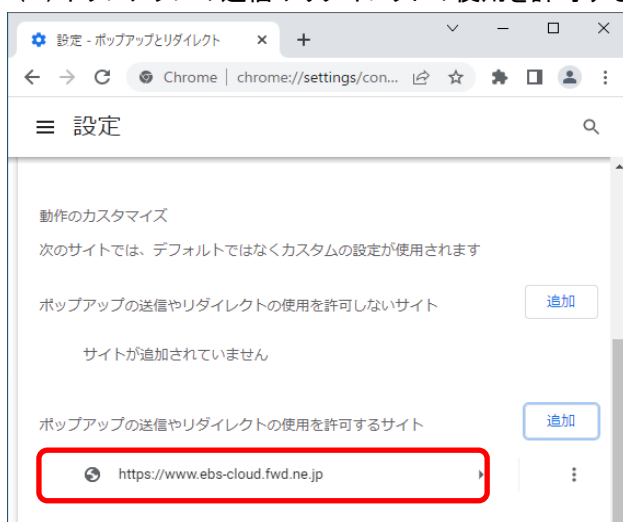


(3)「サイト」欄③に以下のURLを入力し、「追加」ボタン④をクリックします。

<https://www.ebs-cloud.fwd.ne.jp>



(4)ポップアップの送信やリダイレクトの使用を許可するサイト欄に登録したURLがある事を確認します。



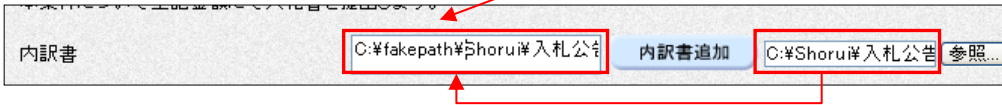
Google Chromeの設定は以上です。

⑨インターネットオプションの詳細設定

※Windows10をご利用の場合は、マイクロソフト社のInternet Explorerサポート終了（2022年6月16日（木））以降は動作保証できません。

電子入札システムでファイルをアップロードする際に、ファイルのパス名が「fakepath」と表示されてしまう場合はインターネットオプションの詳細設定を確認してください。

パスの先頭が「C:¥fakepath¥..」と表示されてしまう

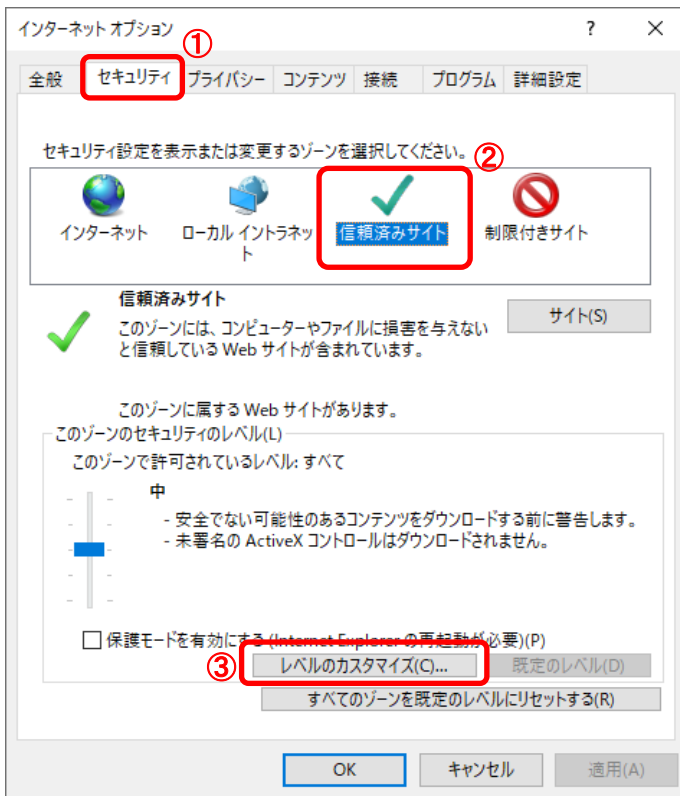


1. メニューバー[ツール]—[インターネットオプション]①をクリックします。



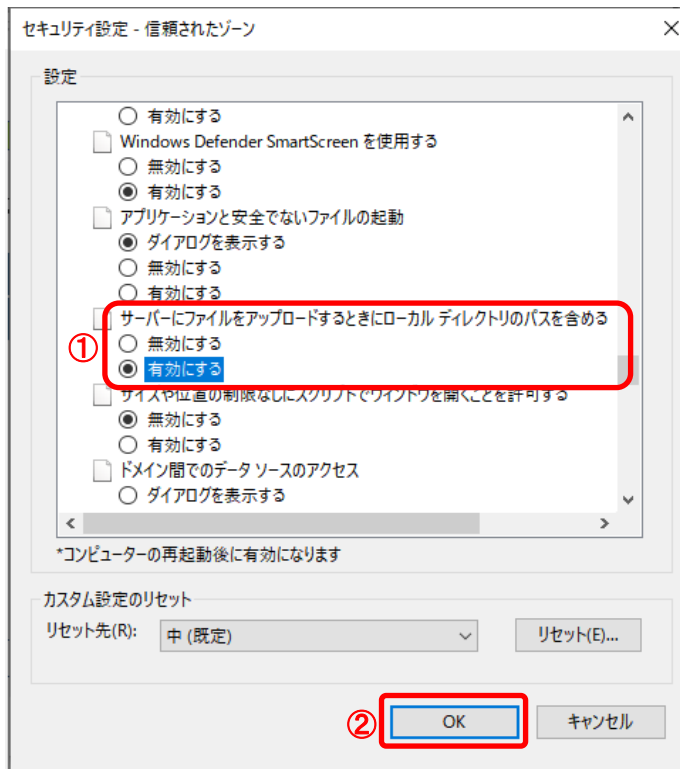
2. インターネットオプションダイアログにて以下の操作を行います。

- (1) [セキュリティ]タブ①をクリックします。
- (2) [信頼済みサイト]②をクリックし、[レベルのカスタマイズ]ボタン③をクリックします。



3. セキュリティ設定－信頼されたゾーンダイアログにて以下の操作を行います。

- (1) [サーバにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める]①を[有効にする]に変更します
- (2) [OK]ボタン②をクリックします。



4. Internet Explorerを終了します。他に開いているInternet Explorerがあれば全て終了してください。